

サッカー少年ボール追う

5日に開幕した第32回市民タイムス杯少年サッカー新人戦・カガミカップは、県内の小学生でつくる64チームが白熱した試合を繰り広げた。初日は3回戦までの56試合があり、選手たちが日頃の練習の成果や磨いてきた新チームの連係を発揮した。
(荘 隆子)

市民タイムス・カガミ杯



初戦のキックオフ前、チームメイトと笑顔で言葉を交わす松本清水FCの選手たち



円陣を組んで威勢のいい掛け声を上げ、2回戦への士気を高める梓川FC



女子チーム・松本ウイングの選手たち。ハーフタイムで声を掛け合う大切さを確認し、後半への気持ちを高めた

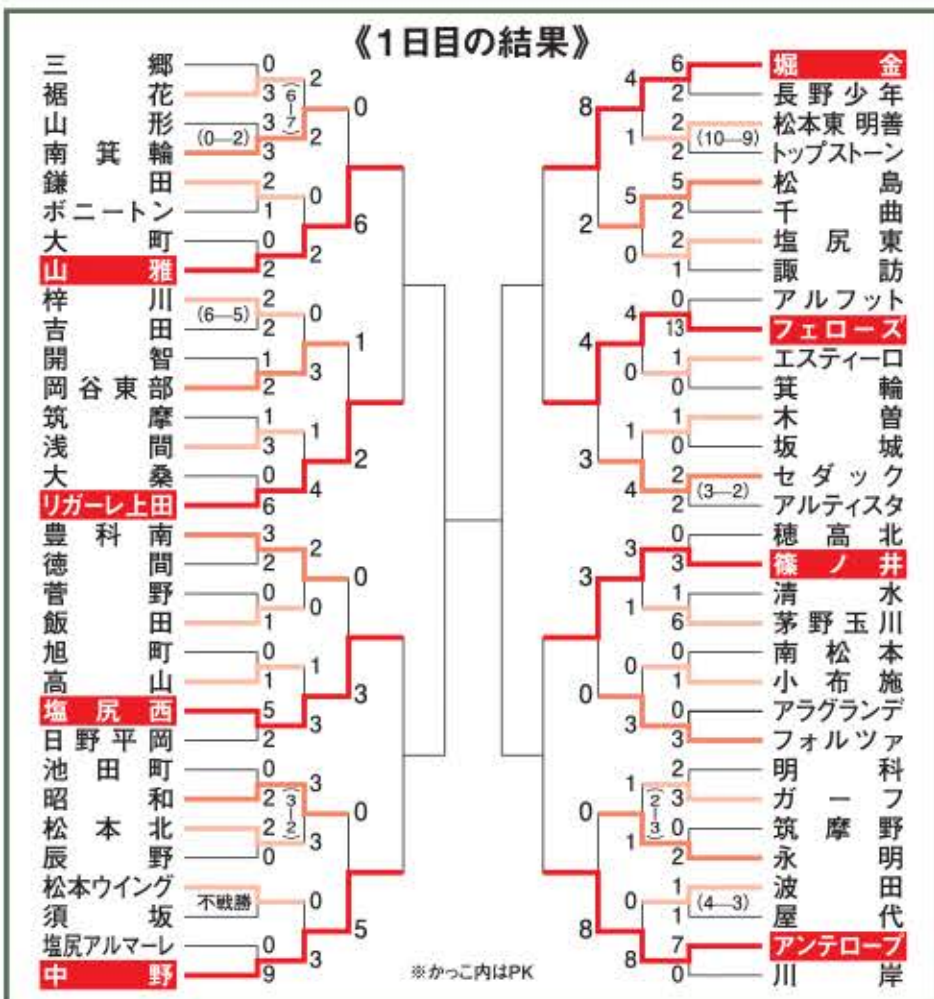
県内の64チームが激突



パスを出す波田サッカースポーツ少年団の選手



チームのプラカードを掲げ、引き締まった表情で開会式に臨む選手たち



開会式で選手宣誓する菅野サッカー少年団の上條鉄平主将



体勢を崩しながらもボールに食らいつく吉田JFCの選手



試合速報や過去の大会結果を紹介しているカガミカップのHP

試合速報や過去の大会結果を紹介しているカガミカップのHP。HPには通年で閲覧できる。

大会の試合速報は、カガミカップの専用ホームページ(HP)で確認できる。大会の創設当初から協賛するカガミグループのHP内にあるリンクから閲覧でき、試合速報だけでなく、参加チームや過去の大会結果なども詳しく紹介している。試合中の写真も随時掲載する予定で、グループ社員らが各会場で撮影した写真で選手たちの熱戦の様子を伝える。HPは通年で閲覧できる。



電光掲示板に映し出された工藤選手からのビデオメッセージ映像

工藤選手からのビデオメッセージ映像。試合への気持ちを高めていた。

山雅・工藤選手子供にエールビデオメッセージ。開会式では、サッカーのJ2松本山雅FCのMF工藤浩平選手からのビデオメッセージが紹介された。工藤選手は友人に誘われてサッカーを楽しむことを忘れないでと呼び掛けた。選手たちはプロ選手からの応援メッセージを笑顔で見つめ、試合への気持ちを高めていた。